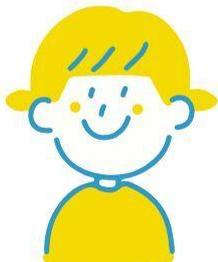


令和7年度 奈良県幼・小・中・義務教育学校

教育課程研究集会

中学校 外国語科

奈良県教育委員会事務局



学習指導要領の趣旨を踏まえた 指導の在り方について

奈良県教育委員会事務局
義務教育課
授業力向上係
指導主事 松崎 晶子

外国語科の目標

第1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

育成を目指す資質・能力

知識及び技能

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

思考力、判断力、表現力等

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考え方などを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

学びに向かう力、人間性等

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

育成を目指す資質・能力

知識及び技能

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

思考力、判断力、表現力等

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考え方などを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

学びに向かう力、人間性等

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

育成を目指す資質・能力

知識及び技能

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

思考力、判断力、表現力等

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考え方などを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

学びに向かう力、人間性等

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

外国語科の目標

第1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

言語活動は、「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなど」の活動を基本とする。

『中学校学習指導要領解説外国語編』P85

言語活動を行う際は、単に繰り返し活動を行うのではなく、生徒が言語活動の目的や言語の使用場面を意識して行うことができるよう、具体的な課題等を設定し、その目的を達成するために、必要な言語材料を取捨選択して活用できるようにすることが必要である。

『中学校学習指導要領解説外国語編』P55

「具体的な課題等」の解決に向け、実際に英語を用いた言語活動の中で思考・判断・表現することを繰り返すことを通じて知識及び技能が習得され、学習内容の理解が深まり、学習に対する意欲が高まるなど、三つの資質・能力が相互に関係し合いながら育成される必要がある。

『中学校学習指導要領解説外国語編』P52

外国語教育における学習過程

1. 設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解する



2. 目的に応じて情報や意見などを発信するまでの方向性を決定し、コミュニケーションの見通しを立てる



3. 目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行う



4. 言語面・内容面で自ら学習のまとめと振り返りを行う

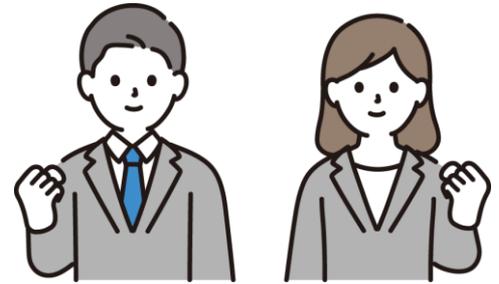
学んだことの意味付けを行ったり、既得の知識や経験と、新たに得られた知識を言語活動で活用したりすることで、「思考力、判断力、表現力等」を高めていくことが大切になる。

生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解に応じた英語を用いるようにすること。

『中学校学習指導要領解説外国語編』P86

まとめ

- ✓ 目的・場面・状況が設定された **言語活動**
- ✓ 外国語教育における **学習過程**
- ✓ 授業における **英語の使用**



参考資料

- ・「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン『みるみる』

<https://www.mext.go.jp/content/000356850.pdf>



- ・ 文部科学省mextchannel「外国語教育はこう変わる!」



The image shows a promotional graphic for the MEXT YouTube channel. At the top, it says '文部科学省 YouTube公式チャンネル' (MEXT Official YouTube Channel). The main title is '外国語教育はこう変わる!' (Foreign Language Education is Changing!). Below this, there's a 'NEW! 新着動画のご案内' (New! Video Introduction) section with a '4本追加!' (4 videos added!) badge. It lists '小・中・高等学校の授業動画及び解説動画を通過して、授業を工夫することや言語の幅員の拡大につなげていただけますと幸いです!' (By watching lesson videos and explanation videos for elementary, middle, and high schools, you can improve your lessons and expand your language skills, which we hope will be helpful to you!). To the right, it says '外国語教育はこう変わる! 文部科学省/mextchannel'. The main content area is divided into four categories, each with a QR code: '小中高共通' (Elementary, Middle, and High School Common), '小学校' (Elementary School), '高等学校' (High School), and 'ALT向け' (For ALTs). Each category has a brief description and a thumbnail image. At the bottom, it says '文部科学省初等中等教育局教育課国際語教育推進室' (International Language Education Promotion Room, Education Bureau, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology).



小中高共通



小学校



高等学校



ALT向け

